

議会だより

ふな状大

No.184

2年/10



発行：山形県舟形町議会
令和2年10月23日



表紙のことは
19Pにあります。

コロナに負けず親子でGO!!

7月・9月臨時会・9月定例会概要・質疑応答	2P
決算審査特別委員会概要・監査意見書	5P
決算審査特別委員会質疑応答	6P
議案の採決状況	8P
町政を問う 一般質問に6議員	9P
議会報モニターアンケートより	16P
議会活動	18P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20P



ゴールテープに向かってよーいどん!!



舟形小学校職員室に設置されているWi-Fiルーター

教育課長 現在、全てのタブレット端末を接続する容量がないので、10月頃までにネットワーク環境を整備する計画で進めています。

議員 タブレット端末導入の上で、Wi-Fi環境の整備はいつ頃の予定なのか。

教育課長 指名業者数は6社で72.6%の落札率になります。

議員 タブレット端末の指名業者数と落札率は。

舟形小中学校タブレット端末等の取得

第3回臨時会

質疑応答

総務課長 住民の方からスムーズで適正な日直業務をとの意見があり、他町村の警備を担当し実績がある警備保障会社に変更したものです。

議員 庁舎の警備関係が、シルバーの方から業者へ変わっているようだが、その理由は。

令和2年度一般会計補正予算

住民税務課長 ドローン撮影のための2名分の委託料になります。ドローンで撮影した災害の状況は、ホームページに掲載しています。

議員 災害状況記録業務委託料とは。また災害状況をどのように記録するのか。

令和2年度一般会計補正予算の専決処分

9月定例会

健康福祉課長 県との連携事業で、生活福祉資金の特例貸付を利用した世帯の対象者に、県が10kg、町が50kgを宅配で配給します。

議員 食の支援事業で米の現物支給3件が予定されているが、対象者に配給する方法は。

令和2年度一般会計補正予算

第4回臨時会

令和2年度 主な補正予算

- 農業用施設災害復旧事業 …… 1億2227万円 (農地7箇所、農業用施設15箇所)
- 公共土木施設災害復旧事業 …… 2825万円 (道路15箇所、河川1箇所)
- 河川災害防止対策事業 …… 780万円 (住家等へ浸水が想定される箇所の改修)
- 公共施設等災害復旧事業 …… 541万円 (災害ごみの処分経費、被災者支援)
- 林道施設災害復旧事業 …… 507万円 (3路線、4箇所)
- 舟形町住宅総合支援事業 …… 420万円 (1次販売11件、建築予定7件、建築見込4件)
- 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行防止事業 …… 391万円 (インフルエンザ予防接種費用の一部助成)
- 空き家対策事業 …… 270万円 (当初10軒 → 解体予定12軒)
- 防災事業 …… 234万円 (排水対策用ポンプ3台購入)
- 財政調整基金積立金 …… 1億2000万円

※財政調整基金とは…健全な財政運営のための貯金のこと。年度間の財政不足に備えたり、災害等の予期せぬ支出に備えるための基金。

9月定例会は、9日間の日程で開催し、6人の一般質問に続き、令和元年度各会計の決算7件、令和2年度各補正予算3件、条例の制定2件等について審議し、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。

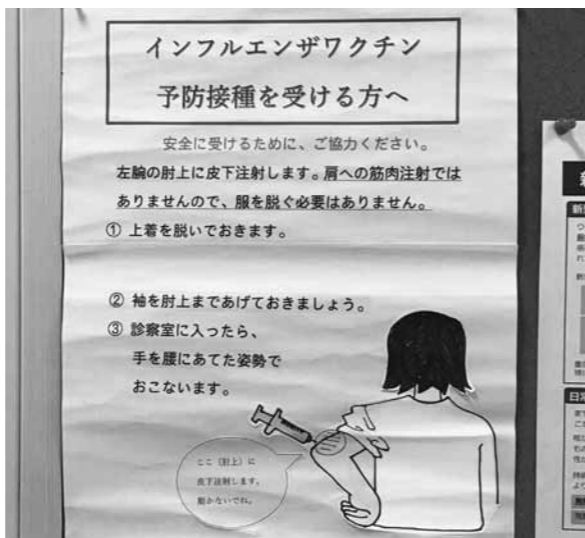
- 第3回臨時会 7月15日
- 第4回臨時会 7月31日
- 9月定例会 9月2日~10日
- 第5回臨時会 9月25日

令和元年度決算を認定 総額79億1643万円

主な審議された議案

- 第3回臨時会 ○舟形小中学校タブレット端末等の取得
- 第4回臨時会 ○令和2年度一般会計補正予算
- 9月定例会 ○令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認
- 令和2年度一般会計補正予算
- 舟形町手数料条例の一部を改正する条例の制定
- 新庄市との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更
- 教育委員の任命2件
- 令和元年度各会計決算の認定7件
- 第5回臨時会 ○令和2年度一般会計補正予算

全議案の採決結果は8ページに掲載



予防接種を受けて、この冬を元気に乗り越えましょう (舟形クリニック内の掲示物)

議員 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行防止事業391万円の内容は。

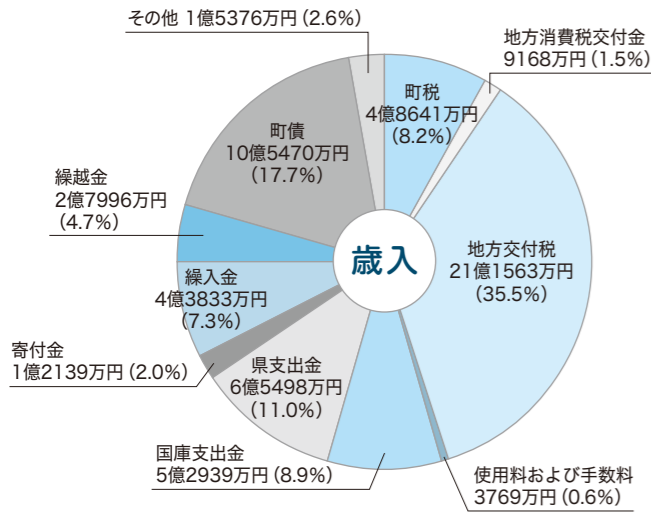
健康福祉課長 全町民対象(2000円補助)にインフルエンザの予防接種を受けていただき、発熱等の病状が出た時、新型コロナがインフルエンザか医療機関で混乱しないようにする事業です。

議員 空き家対策事業で、町に管理不全な状態にある空き家はどれくらいあるのか。また、ほかにも相談等はないのか。

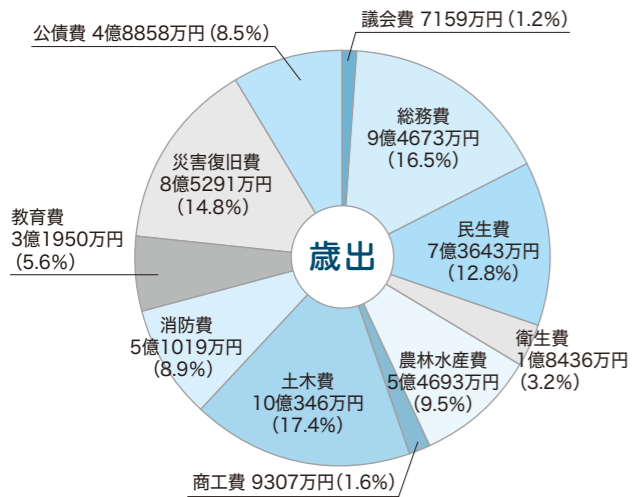
住民税務課長 調査したところ50軒ほど残っている状況です。今のところ2軒の解体を追加予定で、ほかにも相談を受けています。

一般会計

歳入 (59億6392万円)



歳出 (57億5375万円)



歳入歳出差引額 2億1017万円

健全な財政運営で 町民の生活向上を



伊藤 欽一 委員長

決算審査特別委員会

令和元年度決算審査は、会期中の9月4日から8日まで特別委員会を設置し、委員長に伊藤欽一（議会広報常任委員長）、副委員長に奥山謙三（議会運営委員長）を選任し、一般会計、5特別会計、水道事業会計を慎重に審査しました。

特別会計

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険事業	6億8101万円	6億4551万円
後期高齢者医療事業	6882万円	6742万円
介護保険事業	7億3249万円	7億987万円
農業集落排水事業	2億4962万円	2億4748万円
公共下水道事業	1億9690万円	1億9378万円
合計	19億2884万円	18億6406万円

水道事業会計

	歳入額	歳出額
水道事業 [※] 収益的収支	1億9624万円	2億750万円
水道事業 [※] 資本的収支	4851万円	9112万円

※収益的…水道水を作り、各家庭へ届けるための費用。
 ※資本的…水道管などの施設整備費用や借入金の返済。

監査意見書

齊藤 徹 代表監査委員

令和元年度一般会計並びに特別会計の歳入歳出決算及び水道事業会計の会計報告書の計数は、正確であると認められました。また、予算の執行、会計経理事務の処理並びに財産の取得・管理・処分についても適正であると認められました。且つ、財政健全化法に基づき各比率は、いずれも基準内にあり、当町の財政は健全であると認められます。

補足意見

福祉避難所施設整備事業、防災拠点施設整備事業等により、地方債残高比率の上昇は免れません。第7次舟形町総合発展計画に掲げた数値目標の達成に向け、行政は健全な執行に、議会は確かな審議に専心していただきたい。



松橋川から町道を越流し農地が冠水（真木野後山線）

議員 河川災害防止対策事業780万円、豪雨時に河川や水路があふれ住宅等への浸水が想定される具体的な場所とは。

地域整備課長 西又の県道横断水路、富田湯の入、長沢権現沢、町道真木野後山線、富田野崎山線、鼠沢水路、以上6箇所の水路、道路です。

議員 道路新設改良事業とは。太折地区が災害時、孤立集落となることを防ぐための富田方面への避難道路新設の路線、ルートは決まったのか。

町長 路線、ルートを決めるための150万円の測量・設計委託料です。今後、調査結果を踏まえて事業実施を進めていきます。

議員 IT教育事業155万円は、小中学校パソコン教室用管理ソフトのリース料なのか。

教育課長 昨年度にハードウェアのバージョンアップを行なったが、ソフトウェアのバージョンアップに伴って必要になったリース料です。

議員 排水ポンプを3台新規に購入し、現在の2台と合わせて合計5台になるが、保管場所はどこになるのか。また、排水ポンプが増えることにより、電源は大丈夫なのか。

住民税務課長 2台は消防団6分団12部（堀内）のポンプ小屋、もう1台は3分団6部（舟形）のポンプ小屋に一時保管し、最終的には現在建設中の防災センターに保管する予定です。電源については、堀内の既設のもので大丈夫です。また、消防団の電源車も使用することが可能です。

議員 農業施設災害復旧費、農地7箇所、農業施設15箇所の場所は。

地域整備課長 農地は、湯の入、大平、馬形、裏の山、一本杉、こぶし、長沢です。農業用施設は、ユスナゴ揚水機場、ホーヤ沢揚水機場、開墾堰頭首工取水施設、根渡揚水機場、柳形山揚水機場、向野揚水機場、長沢水路、スルス沢農道、ホーヤ沢農道ほか、小さい災害が6箇所になります。

令和2年度介護保険特別会計補正予算

議員 備品購入費の内容は。

健康福祉課長 地域包括センターの職員並びに保健師が、家庭訪問した際の資料説明等で使用するタブレット端末5台分の購入費です。

第5回臨時議会

令和2年度一般会計補正予算

議員 全町民へ交付される「元気にくらしましょう品券」は、町のどの範囲まで使うことができるのか。また、いつ頃交付する予定なのか。

まちづくり課長 この商品券は、町の商工会に加盟する商店等で使用することができます。交付時期は、11月上旬を目途にしています。



「元気にくらしましょう品券」でがんばってくらしましょう

質 答 疑 答

一般会計

歳入

議員 災害寄付金の内容は。

財政係長 平成30年度豪雨災害が、災害救助法の対象になり、郵便局を窓口とした災害義援金を募集し、30年度末までの受付で集まった分について、元年度予算に組み込み支援金に充当したものです。

議員 多目的グラウンド使用料は、前年度まではなかったが、今回使用料が入った理由は。

まちづくり課長 若あゆ温泉下のグラウンドで、町外の団体が使用したため使用料が発生しました。



利用拡大が望まれる温泉下多目的グラウンド

議員 新庄中核工業団地企業誘致促進協議会負担金を拠出しているが、8市町村の総額はいくらか。また、具体的な誘致運動と元年度の進出企業は何か。

まちづくり課長 新庄市が事務局となり、企業の誘致運動を進めています。負担金の総額は117万800円となっております。進出企業は1社です。

議員 空き家対策事業の中で、舟形町に本当に危ない空き家は何軒あるのか。

住民税務課長 昨年10月1日現在で、空き家が53軒、利用可能と思われる建物が22軒、利用不可または倒壊を含めた建物が31軒です。

議員 交通安全対策事業で、電動カーの安全講習が必要だと思いが。

住民税務課長 各町内会の要望により安全教室を実施しています。電動カーの講習についても、町内会からの要望があれば検討したいと思います。

議員 緊急通報システム設置事業の内容は。

健康福祉課長 一人暮らし世帯となった段階で、必要か必要でないかは、本人を含めて家族の方で検討していただき、申請してもらおう事業です。

議員 担い手等支援対策事業の農業次世代人材育成投資資金5件とあるが、その営農形態は。

農業振興課長 水稲とニラが1名、アスパラガスが2名、きゅうりが1名、ネギが1名になります。

議員 観光物産センターの防犯カメラ設置の事業内容は。

まちづくり課長 防犯カメラ2台、録画機能付モニター1台、防犯ブザー1台を物産センターに設置しました。



観光物産センター内部に設置された防犯カメラ

歳出

議員 放課後わかあゆ塾で、中学生の自習時間に、服務中にもかかわらず教育課職員が学校に向いているのか。

教育課長 わかあゆ塾のカリキュラムで、講師の授業を受ける組と自習の組があり、自習の見守りをわかあゆボランティアが担当していますが、不足部分について教育課職員が担当しました。

教育課長 小学校は調理用殺菌庫、中学校は冷凍冷蔵庫1台とガス回転釜2器を購入しました。

議員 小学校と中学校でそれぞれ厨房用器具を購入しているが内容は。

地域整備課長 平成30年度は費用がかさむ修理がありませんでした。昨年度は除雪機械のカッティングエッジ修繕等、多額の金額を要する修理が多かったためです。

議員 暖冬で少雪にもかかわらず、除雪機械修繕費が約3100万円と多額になった要因はなにか。

議員 福寿野岡矢場線用地測量業務委託の内容と今後の予定については。

地域整備課長 設計は終了しており、その設計に基づき用地の測量を行なっています。今後は、用地交渉や地元住民への説明会を予定しています。



舟形町初の民間賃貸共同住宅（旧舟形小学校前）

議員 民間賃貸共同住宅建設支援事業の成果は。

地域整備課長 民間賃貸共同住宅については、4世帯満室となっておりますので、十分な成果が出ていると考えています。

議員 現在の舟形クリニックの利用者状況は。

健康福祉課長 1日平均利用者は約35人程度です。



早期の改修が望まれる福寿野岡矢場線

介護保険特別会計

議員 地域支援事業の総合相談事業費で、諸車借上料を計上しているが内容は。

健康福祉課長 包括支援センターで、年間を通して2台レンタカーを借上しています。

農業集落排水事業特別会計

議員 農業集落排水事業で放射線の測定を実施しているが、その頻度は。

地域整備課長 年1回の測定を実施しています。

町政を問う

一般質問に6人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が町民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。
(本会議での持ち時間は一人40分)

小国 浩文 議員

10ページ

- 1 ふるさと納税の現状と今後の展望は
- 2 特定災害による半壊家屋等の解体補助について

齋藤 好彦 議員

13ページ

- 1 コロナ禍での避難所対応は万全か
- 2 災害に備えた森林整備を

奥山 謙三 議員

11ページ

- 1 洪水予測地図改定の進捗状況は
- 2 企業版ふるさと納税の活用を進めよ

叶内 昌樹 議員

14ページ

- 1 安心安全の道路整備について
- 2 河川公園の利活用促進について

荒澤 広光 議員

12ページ

- 1 がん検診受診率向上の取り組みが課題
- 2 大雨被害・抜本的な対策が急務

伊藤 欽一 議員

15ページ

- 1 防災・減災対策について問う

<一般質問 掲載要綱>

- 議会だより一般質問本文への掲載件数は、2件以内で、3件目はタイトルのみ掲載。
- 本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内のため、内容を要約して掲載。

議案審議

令和2年 第3回臨時会 議案の採決状況		○賛成	×反対	⊖欠席	⊖退席	⊖除斥					採決結果	
議案番号	議案名	1 叶内昌樹	2 荒澤広光	3 伊藤欽一	4 小国浩文	5 石山和春	6 奥山謙三	7 佐藤広幸	8 叶内富夫	9 齋藤好彦		10 八鍬太
議案47号	舟形小中学校タブレット端末等の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	*	⊖	可決
令和2年 第4回臨時会 議案の採決状況												* 議長または議長代理は採決に加わらない。
議案48号	令和2年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
令和2年 第3回定例会 議案の採決状況												* 報告は採決を行わない。
報告4号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※
承認9号	令和2年度舟形町一般会計補正予算の専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	承認
議案49号	令和2年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案50号	令和2年度舟形町介護保険特別会計事業勘定補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案51号	新庄市との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案52号	舟形町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案53号	舟形町手数料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
認定1号	令和元年度舟形町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	認定
認定2~6号	令和元年度舟形町特別会計歳入歳出決算の認定 (5件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	認定
認定7号	令和元年度舟形町水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	認定
議案54・55号	舟形町教育委員会委員の任命 (2件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案56号	町村の境界変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
議案57号	境界変更に伴う財産処分に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議5号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議6号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議7号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
発議8号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決
令和2年 第5回臨時会 議案の採決状況												
議案58号	令和2年度舟形町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	可決

◆令和2年 第3回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

会期	会議種別	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	傍聴者数
9月2日(水)	本会議	・請願・陳情付託 ・町長行政報告 ・一般質問2名	・一般質問2名 終了後、各常任委員会	5人
9月3日(木)	本会議	・一般質問2名	全員協議会	3人
9月4日(金)	本会議	・議案審議 (報告4号、承認9号、議案49~50号)	・議案審議(議案51号~53号) <決算審査特別委員会設置> 決算審査特別委員会	1人
9月5~6日(土日)	休会		休会	-
9月7日(月)	休会		決算審査特別委員会	4人
9月8日(火)	休会		決算審査特別委員会	0人
9月9日(水)	休会		休会	-
9月10日(木)	本会議	各常任委員会 全員協議会	・決算審査特別委員会報告 ・議案審議 (認定1号~7号、議案54号~57号、発議5号~8号) ・閉会中の所管事務調査報告 終了後、広報常任委員会	0人



奥山 謙三 議員

洪水予測地図改定の進捗状況は

令和2年度末には完成予定



7月豪雨災害により越流し冠水した水田（富田地区）

質問 昨今の災害が多発する状況を鑑みると早急に作成する必要があると考えます。①作成の進捗状況はどうなっているか。②小さな水路があふれることなども考慮する必要がありと考えるが、検討されたのか。③予測地図をより有効に活用するために、地域住民の理解と訓練が必要と考えます。

町長 ①について、最上川と最上小国川の浸水想定区域、町内の土砂災害警戒区域、町内4箇所の

質問 企業版ふるさと納税は、応援したい自治体の地域活性化事業に寄付した企業の税負担を軽くする制度です。政府は、

活用を進めよ
検討していきたい

ため池が決壊した場合の洪水想定区域のほか、災害時の非常持出品、公共機関の連絡先等の情報も盛り込んで、年度末には完成の予定です。②については、小さな水路等については町内全ての水路を調査することは困難であるため、盛り込むことは検討していません。町内会や自主防災組織で調査を行い、追記していただきたいと思っています。③については、町内会や自主防災組織で確認した危険箇所を盛り込んだハザードマップを作成し、避難訓練を行なってもらうと、より効果的に活用でき、周知にもつながるものと思っています。

町長 本事業は、令和2年4月1日の制度改正により企業のメリットが充実されるとともに、今年中に「企業版ふるさと納税・ヒト版」として、企業が人材を派遣した場合、その人件費を寄付と

特産品の販路拡大のほか、観光振興や情報通信技術（ICT）といった分野に詳しい社員が、地方に派遣されることを期待しています。当町においても活用すべきと思います。が、町の考えは。

みなす制度に改正し、運用される見込みとなっているようです。町では、第7次舟形町総合発展計画の短期アクションプランと兼ねている第2期舟形町総合戦略に掲げた事業に対して、この企業版ふるさと納税及びヒト版をどのように活用し地方創生の推進を図れるかと併せて、事業に賛同してくれる企業の選定および働きかけについて、検討していきたいと考えています。

活用が期待される企業版ふるさと納税（内閣府ホームページより）



企業版ふるさと納税

活用が期待される企業版ふるさと納税（内閣府ホームページより）



旧富長小学校にできた舟形町ふるさと納税サポートセンター

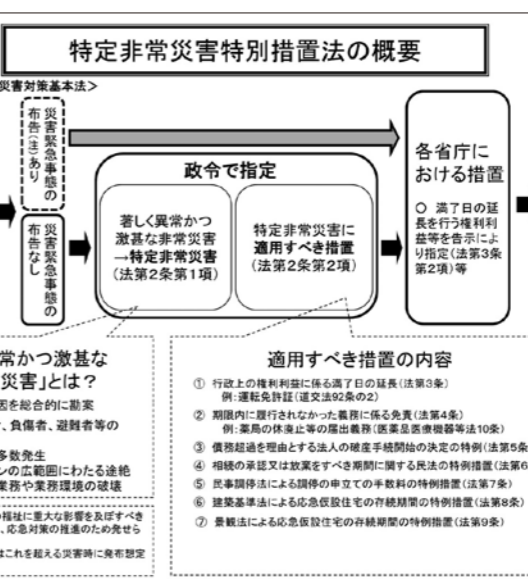
質問 本年度4月から、これまで長年業務委託をしていた舟形町まちづくり公社から、振興公社内に新しくできた舟形町ふるさと納税サポートセンターに業務を委託されたようですが、なぜ、ふるさと納税業務の委託先を舟形町ふるさと納税サポートセンターに変更しなければならなかったのか

町長 最初にふるさと納税業務の委託先の変更に至る経過については、理由として大きく2点です。1つ目が今年3月末をもって業務契約期間の満了を迎えたこと。2つ目が総務省からの通知や法律改正により、返礼品は地場産品で寄付額の3割以内というルールの中、寄付金額について伸び悩んでいる状況にあったことが挙げられます。

町長 このような理由から、町が100%出資している（株）舟形町振興公社に業務を委託し、寄付金の増につなげたいと考えたものです。今後については、

町長 国より通知が発出され、災害廃棄物処理事業については、災害等廃棄物処理事業費補助金の補助対象として、「特定非常災害に指定され、かつ大量の災害廃棄物の発生が見込まれる災害に限り、市町村が災害廃棄物

質問 これまでは原則全壊を解体補助対象とし、災害規模に応じて弾力的な運用がなされてきました。今後、半壊家屋等にも特定災害家屋等の解体費用の負担が生じず、解体は市町村が業者委託等を行うこととなります。その費用の9割超を国が補助し、残りを市町村が負担するとした恒久的な仕組みにするとの町としての考えを伺います。



半壊でも全壊同様の補助対象（内閣府ホームページより）

ふるさと納税の現状と今後の展望は

納税額3億円を目指します

小国 浩文 議員

質問 本年度4月から、これまで長年業務委託をしていた舟形町まちづくり公社から、振興公社内に新しくできた舟形町ふるさと納税サポートセンターに業務を委託されたようですが、なぜ、ふるさと納税業務の委託先を舟形町ふるさと納税サポートセンターに変更しなければならなかったのか

町長 最初にふるさと納税業務の委託先の変更に至る経過については、理由として大きく2点です。1つ目が今年3月末をもって業務契約期間の満了を迎えたこと。2つ目が総務省からの通知や法律改正により、返礼品は地場産品で寄付額の3割以内というルールの中、寄付金額について伸び悩んでいる状況にあったことが挙げられます。

町長 このような理由から、町が100%出資している（株）舟形町振興公社に業務を委託し、寄付金の増につなげたいと考えたものです。今後については、



齋藤 好彦 議員

コロナ禍での 避難所対応は万全か 地方創生交付金を活用し万全を期す



新型コロナウイルスの流行を想定した避難者受入訓練（中央公民館）

質問 本年7月末のこれまで経験したことがない豪雨災害のなか、以前から提唱してきた避難所の感染症対策など、新たな環境整備は万全であったのか、避難者への対応は十分であったのか懸念しています。特に一時避難所の運営体制など早急に検証し、万全を期す必要があると考えます。町長の考えを伺います。

町長 町では、8月1日に中央公民館及び舟形小学校において、新型コロナウイルスの流行時を想定した指定避難所の設置訓練を、県のガイドラインに基づき実施しました。受付や避難スペースの設置に時間を要し、また、受付での避難者名簿、健康状態チェックカードの記載にも想定以上の時間を要しました。今後は、受付方

法等を改善して、ガイドラインに沿った指定避難所の運営体制を確立していきたいと思っております。また、感染症対策のパライシジョンなど必要資機材の整備ができていないので、今後とも新型コロナウイルスウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、指定避難所の運営を万全にしていきたいと考えています。

災害に備えた 森林整備を

本制度の実施に向け 検討を進める

質問 先の豪雨災害により、林地の土砂崩れが原因となった流木による農業・水産業の被害額が膨大になっています。流木は様々な工物などを破壊し、被害を拡大させる要因にもなっています。そのような中、県が推進している適正な森林経営は、土砂災害をある程度抑制することが可能と考えます。本町の森林管理

町長 適期の間伐により土砂の崩壊を防ぐことができるため、町では、やまがた緑環境税を活用した間伐事業などに取り組んでまいりました。森林管理経営制度については、今後の森林経営についての意向調査の準備に着手しており、今後とも、制度

を進めるうえで職員が必要知識等を習得するため、研修等を通じ研鑽を重ねながら、引き続き実施体制の検討を進めていきます。また、事業の財源となる森林環境譲与税が多く配分されるよう、国に要望を行なっています。



災害により通行不可能な林道（富田猿羽根山線）

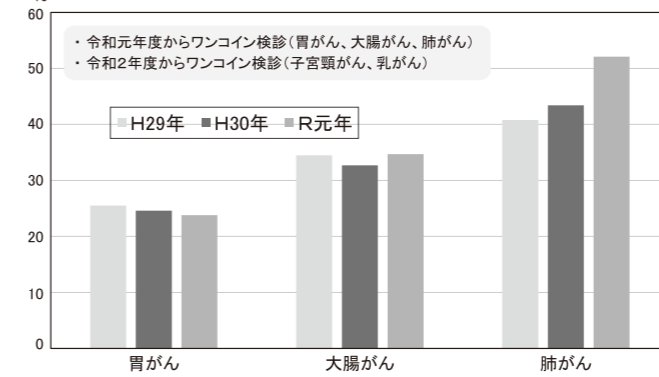


荒澤 広光 議員

がん検診受診率向上の取り組みが課題

広報などで制度の周知を更に努める

舟形町がん検診受診率の推移



町長 町では、対象年齢の方が無料で受けられる節目がん検診、500円で受けられるワンコインがん検診事業があります。令和元年度のがん検診受診状況は、胃がん検診が24%、大腸がん検診が35%、肺がん検診が52%、乳がん検診は平成30年度実績が28%、子宮頸がん検診は20%と低い実績です。当町の死亡原因のトップが、がんでも多く、受診率向上の具体的方策を伺います。

平成25年から連続となっています。特に肺がん、胃がん、大腸がんの割合が多くなっています。そこで早期発見、治療を目指す、受診率向上のため町が実施する、肺・胃・大腸がん検診を対象として、個人負担が500円で受診することができるようワンコイン検診を昨年度より実施し、今年度からは、子宮・乳がん検診にも拡大をしています。子宮・乳がん検診については対象者916人一人ひとりに、受診の勧奨を文書で郵送したところです。制度が始まったばかりではありますが、広報紙でワンコイン検診の周知に

町長 平成28年以降、河川

川の越水による農業被害が、同じ場所でも繰り返して発生しているのが現状です。特に松橋川や堀内川は河川幅が狭く、急流で鉄砲水となり、農地を削り取り石や流木を残していくため、大きな被害となっています。県では、平成30年豪雨被害を受け、堆積土砂・支障木対策、上流部からの土砂流出防止対策を実施し、減災に向けた「河川流下能力向上緊急対策計画」を策定しました。当町でも対策として松橋川と堀内川の合流部

の改修工事、小国川及び松橋川の堆積土砂の撤去が、計画的に進んでいきます。併せて護岸の嵩上げ、河川勾配改修等が必要な箇所についても、河川管理者と連携し、流下能力の確保、越流対策を進めていきます。



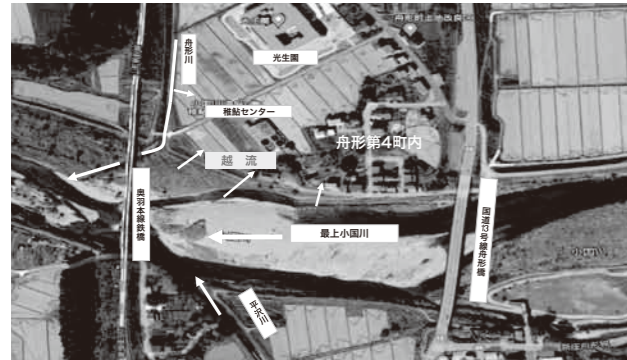
支障木、堆積土砂の撤去が必要な河川

防災・減災対策について問う

長期的に築堤を含めた河川改修の検討



伊藤 欽一 議員



洪水による越流と内水被害が想定される舟形第4町内（向屋地区）

安全安心の生活環境保持のため低い堤防の早期改修が望まれる

質問 7月3日から4日未明にかけ、九州各地及び西日本で豪雨により人的な被害を含め甚大な災

害が発生し、7月28日から山形県内でも広範囲で豪雨に見舞われ、29市町村で少なくとも2千人以



町長 この地区は小国川の洪水浸水想定区域にな

っており、避難勧告の適切な発令や住民の主体的な避難が期待される区域であります。

浸水想定に対し堤防が低い現状では、避難を最優先に考えるしかありませんが、短期的には小国川の堆積土砂の浚渫、長期的にはなりますが、河川改修を含めた築堤も今後検討していかなければならないと考えます。土砂災害防止対策につ



平成30年8月の豪雨で洪水による浸水被害にあった光生園と稚鮎センター

いては、被災直後の現地調査で、えん堤が満砂状態であることを確認し、町と長尾町内会が翌年3月に、国及び県にえん堤の機能回復と強化の要望を提出しています。災害発生以降、国及び県は毎年複数回定期的に確認しており、しばらく様子

見ることになりました。本年7月27日に長尾地区公民館において、地域住民に対し説明会を開催しています。今後は、国、県と情報を共有し連携しながら、土砂災害防止対策に努めていきます。



叶内 昌樹 議員

安心安全の道路整備について

費用対効果も踏まえ検討する

質問 県内における交通事故の発生状況は年々減少傾向ではあるものの、事故の半数は高齢者の事故であります。一方で、高齢者の運転免許証の自主返納者数が、5年間で約3倍となっており、それが交通事故の減少に結びついていると思われま

す。今後、高齢化によりシルバーカー・シニアカー・電動車椅子の普及も



歩道の区切部分のカラー舗装例

町長 自主返納を進める代わりに、サポートを推奨するために町で補助金を出しており、国の方でも令和元年の12月から制度が拡充されたこともあります。令和元年の町道での交通事故は、車両相互1件、車両単独4件です。シルバーカー等の利用も承知していますが、事故の発生等もなく、その方々のために町道の部

分をカラー舗装するということとは、歩行者等の保護面ではあまり効果が期待できないと考え、現実的に難しいのではないかと思います。やはり、操作する方々が交通安全に対する注意をすることが一番の交通安全だと思

います。交通安全母の会や安全協会舟形支部等の関係機関とも相談し、要望があれば、地域の実情と費用対効果も考えながら我々行政側でも検討していく必要があると考えます。

ク舟形（河川公園）の小国川沿いは、県内外から多くの鮎釣り人などにぎわい、また、今年も猛暑が続き、改修した噴水広場と小国川の浅瀬での川遊びは大人気のようでした。今後も安心で安全な川遊びや水遊びが堪能できる場所として、駐車指示等の設置や鮎型水路の活用推進に向けての今後の考えは。



9月の猛暑時に水遊びを楽しむ親子連れ

質問 舟形町のアユパー

町長 本河川公園は町の観光スポットの一つでもあります。昨年度は、多目的広場のアスファルト舗装、チャイルドランド

復旧状況も踏まえ必要に応じて検討

◆議会活動について (14~15ページ)

- ・タブレット端末導入による効果は、わかりやすく説明されていて良いと思う。
- ・議員さんたちもオンラインによる議会やこれからのコロナに備えて、対策していかなければいけないことばかりだが、がんばっていただきたい。
- ・タブレット導入の効果がとてもあるようで良かった。今まで以上に町民との対話の機会が増えていくことで、町民にも良さが伝わっていく気がする。
- ・タブレット導入したことによって、良い効果が得られているようで良い。また改善点、困っている点などはないのか。子どもの運動不足、学力低下は切実な問題なので、さらなる対応策をお願いしたい。

◆えがったなあ、町民の声、編集後記について (16ページ)

- ・たいへんほほえましい写真である。
- ・いつ見ても、これからの舟形町を支えていってくれる若夫婦の姿に元気づけられる。若い人の意見も貴重で、今後の舟形町の未来に役立てていってもらいたい。
- ・町民の声はすごく同感する。町のいろいろな行事や風習はコロナという感染症だけでなく、もっと大切な理由で減少している気がする。ぜひいろいろな対策をお願いしたい。
- ・いつも読んでいておもしろい。良かったこと、考えていること、実行したいこと、読んでいて伝わる。
- ・「えがったなあ」は、心から祝福している。舟形町に望むこと、良いところ、悪いところをこれからの若い世代の声として、受け取って役立ててほしい。「編集後記」を読んで、改めて新型コロナウイルスとの共存した生活スタイルが求められているなあと感じた。

◆議会・町に対する意見等、その他

- 舟形第3地区の側溝、用水路が多い。子どもたちが通学する上で、のぞいて落ちたりしないようなものをつけてもらいたい。
- ・新型コロナウイルス感染症対策特別委員会に期待している。プレミアム商品券には、すべての取扱加盟店で制限なく利用可能と表記してあるが、舟形町のゴミ袋が買えない所があるのはなぜか。説明がうまく伝わっているのだろうか。

モニターさんのご意見にお答えします

- Q. 舟形第3地区の側溝、用水路が多い。子どもたちが通学する上で、のぞいて落ちたりしないようなものをつけてもらいたい。
- A. 通学路でもあり危険なので、早期の改修を議会としても要望していきます。

数多くのご意見ありがとうございます。編集委員会で検討して改善できるところから行なっていきたいと考えています。引き続き、ご意見をお願いします。



すき 隙間が大きく足が落ちる危険な鉄筋格子蓋

貴重な意見ありがとうございます。 議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。今回は議会だより183号(7月24日発行)に寄せられた意見や感想を掲載しています。いただいたご意見は十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

◆表紙について

- ・不安なくいろいろなことを楽しめる世の中に、早くもどってほしいなと感じた。
- ・今年はコロナ禍の影響であゆ釣りももっと少ないと思っていたが、多くの釣り人がいて良かったと思う写真だ。
- ・毎年繰り返される夏の風物詩。コロナがおさまり、いつもの夏がもどってきてくれないかな…そんなおだやかな表紙。
- ・季節感があり、たいへん良い。この風景がいつまでも続いてほしい。

◆定例会等概要、質疑応答、採決状況表について (2~6ページ)

- ・コロナ対策関連の事業、そのために使われる予算がほとんどで、やはり今はそうなんだと実感する。
- ・議案の採決状況でxをつけた方の意見が聞きたい。議員報酬の削減など、町民のために200万円を支援してくれた措置はありがたいと思う。コロナ禍において、補正予算の対応等たいへんだと思いますが、町民のためにがんばっていただきたい。
- ・議員さんの報酬減額、気持ちがとても有難いと思う。その気持ちも含め、すべての町民に平等な支援をしていただけるようお願いします。
- ・舟形町の動きが読んでいてわかった。
- ・新型コロナウイルスの影響がどの分野にも出ていて、財政がとても大変だと感じている中で、特別委員会の設置は良かった。細かな情報収集に力を入れ、町民の生活を支えてほしいと願う。議案46号の反対意見が知りたかった。

◆一般質問について (7~11ページ)

- ・それぞれが対策の急がれる提言だが、特に避難所の在り方については、先日の最上川氾濫もあり、切実に感じる。感染症対策も大事だが、実際避難した方の意見など、運営方法も細かく検証すべきだと思う。
- ・高齢世帯が多い町の状況にあって、なかなか利便性の向上というのは難しい点多々あるだろうと思う。小中学校に一人1台タブレット端末は、これからの学習にとっても大切でいいことだと思う。自転車保険は、まだ知らない人も多くいると思うので、早急に対策が必要だろう。
- ・自然災害はいつ起きるかわからない。改めて他人に迷惑をかけないよう、感染しないよう気を付けたい。
- ・現在の問題点とそこから先の問題点が取り上げられていてよかった。ぜひ実行に移してほしい。
- ・デジタルファーストプロジェクトとは、便利になるのは間違いないようだが、心なき誹謗中傷が増えてい社会、いささか心配な面もあるのではないだろうか。

通信技術の有効活用へ

総務文教常任委員会所管事務調査

- 1. 期 日 令和2年8月6日(木)
- 2. 調査内容 (主要事業の説明)

○総務課デジタルファースト推進室

(1) 事業計画
ICT活用計画策定・電子申請システム利用促進・情報発信力強化・職員の情報セキュリティ意識強化と適切な管理

(2) 所感

ICTを活用し事業の効率化を図り、職員の事務負担軽減と町民へのサービス向上に寄与すること、庁舎内の経費節減に期待したい。また、個人情報漏えいが懸念されるので、セキュリティ管理の徹底に努められたい。

○住民税務課

(1) 事務の重点項目
空き家対策・高齢者先進安全自動車購入補助・ごみ減量化とリサイクル・税の収納対策

(2) 所感

町税収納率が県内1位になったことは、職員の努力を評価したい。可燃物焼却量は1人当たりの量が、前年度より増加している。更なる減量化推進に努め、町民への周知を図りたい。



新設されたデジタルファースト推進室

教育委員会委員の任命に同意



沼澤 啓 氏 (舟形第1)



木島 広人 氏 (洲 崎)

任期は
令和2年10月1日より
令和6年9月30日まで

請願・陳情

9月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

●看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出に関する陳情

採 択

●介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出に関する陳情

採 択

陳情者 山形県医療労働組合連合会

執行委員長 渡辺 勇仁

水道施設の水源地を確認

産業振興常任委員会所管事務調査

- 1. 期 日 令和2年8月6日(木)
- 2. 調査内容 (舟形町水道施設の現地調査)

(1) 十二川原水源地

給水区域：長沢地区、舟形地区、太折地区、尾花沢市の一部。

イ. 浄水方法：十二川原滅菌室において、塩素消毒による浄水。

ウ. 課題と対応策：増水時に井戸の濁度が上昇するため、消毒薬のみの浄水では不十分である。同施設にも、膜ろ過浄水による浄水設備の設置を検討すべきである。

(2) 小松水源地

給水区域：紫山地区、沖の原地区、富長地区、堀内地区、大蔵村の一部。

イ. 浄水方法：沖の原浄水場において、膜ろ過設備と消毒薬による浄水。

ウ. 課題と対応策：同水源地は最上小国川と隣接しており、過去の豪雨災害時に濁流による浸水の危険性があった。町民のライフライン確保の観点から、水源地へ濁流の浸水を防ぐ対策工事が必要である。



水道設備の説明を受ける (沖の原浄水場)

●長尾地区道路についての陳情

継続審査

陳情者 持分27分の1 八楸惣吉相続人

八楸 勝昭

●教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択に関する請願

採 択

請願者 山形県教職員組合最上地区支部

支部長 小国 毅

意見書

●看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

●介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書

●教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

(右記の意見書を政府関係機関に提出しました)

表紙のいじり

9月12日に舟形小学校グラウンドで、ほえみ保育園の運動会が開催されました。コロナに負けない親子競技や徒競走が、秋の晴天の中、行われました。

また、小学校や中学校の運動会は時期を変更し、新型コロナウイルスに対応して行われ、子どもたちの元気な姿から勇気ももらい、コロナに負けないまちづくりを目指してほしいと思います。

舟形町議会7月豪雨災害現地調査

7月28日から29日にかけての豪雨災害は、最上川流域を中心に多くの被害が発生したことを受け、議員全員で被災現場を調査しました。また、現地調査等を踏まえ、被災された方々への早期救済及び支援を求める要望書を、舟形町議会より森町長へ提出しました。



開墾堰頭首工取水施設の被害状況を確認 (松橋)

舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策に係る経過(一部抜粋)

- ▼5月 緊急の課題について要望書を提出 (13日)
- ▼6月 舟形町議会新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置 (11日)
- ▼8月 地方創生臨時交付金第二次補正に係る事業要望書を町に提出 (7日)
- ▼9月 重点項目として実施されたい町の支援策について要望書を提出 (15日)

議会のこぼれ

- ▼7月 第2回臨時会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
議会広報常任委員会
第3回臨時会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
議会広報常任委員会
舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会総会
全員協議会
福祉避難所建設工事地鎮祭並びに安全祈願祭
第4回臨時会 議会活性化特別委員会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- ▼8月 最上小国川流水型ダム竣工式
総務文教常任委員会所管事務調査
産業振興常任委員会所管事務調査
舟形町戦没者追悼式
議会運営委員会
議会運営委員会
全員協議会
舟形中学校大運動会
- ▼9月 9月定例会(〜10日)
議会広報常任委員会
防災拠点施設建設工事地鎮祭並びに安全祈願祭
ほえみ保育園運動会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
えんじゅ荘敬老祝賀会
ほなみ敬老祝賀会
第5回臨時会 議会活性化特別委員会
議会広報常任委員会

次回の定例会は 12月8日(火)～11日(金) までの予定です。

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各議員が各地区行事等に参加しています。

えがったなあ

シリーズ



今回は、舟形第3町内の井上将太さんと結婚した、大江町出身の有(旧姓:池田)さんです。
皆さんよろしくお願いします。

◆どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？

以前勤めていた病院で知り合いました。

◆嫁いできて、舟形町での生活はどうですか？

自然が豊かで、近所の方も気軽に声を掛けてくれるのでとても生活しやすいです。

◆舟形町の良いところ・悪いところは？

良いところ 自然に囲まれていて、のびのび生活ができるところ。

悪いところ スーパーやドラッグストアなど買い物できる所があればいいと思います。

◆舟形町に望むことはありますか？

子どもが遊べる室内遊技場や、買い物ができる所がほしいです。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)

舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

舟形町も少子高齢化の進行が加速し、さらに過疎化も進行していて、よりシビアな状況です。舟形町が力を入れている子育て支援により、子育てという面では素晴らしい環境だと思います。文化的、歴史的な魅力もある町ですが、「楽しめる」という点では、まだ足りない部分があると思います。特に若い世代にとって、利便性やシジャーの面で物足りなさを感じてしまうかもしれません。

個人の仕事や学業、町にとっては財政や地域性など問題はあるかと思いますが、コロナの影響で都市への一極集中が見直されようとしている今、若い世代が一生住み続けたいと思える町づくりが必要だと思います。そのための企業誘致や、働く場の整備といったことも考えていただきたいです。

住みやすさ、災害への備え、若い世代のニーズ、全てを一度にはできませんが、老若男女誰もが、舟形町で良かったと思える町づくりをお願いしたいと思います。



大場 誠さん
(経壇原)

(議会より)
若者世代の声は、たいへん貴重なご意見として、議会としても参考にさせていただきます。

編集後記

黄金色の風景から野山の紅葉へと季節も変わり、新型コロナウィルス対策は、新しい生活様式も定着しつつあり、GOTOトラベルやGOTOイートキャンペーンなど、国では経済回復に多くの予算が措置されています。町でもコロナ対策に多くの事業展開を実施します。元気にくらしましょう品券ほか、議会からの要望も組み込まれています。新型コロナウィルスの収束がいつになるか分からない中、町民の皆さん、行政、議会と意思疎通を図りながら乗り越えていきましょう。

(伊藤 欽一記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 伊藤 欽 一
副委員長 小国 浩 文
委員 石山 和 春
委員 荒澤 広 光
委員 叶 内 昌 樹



議会だより ふながた

発行 舟形町議会
編集 議会広報常任委員会

〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地
電話(0233)32-2111(代表)